

R4年度 モコ掛川・宮脇保育園 園評価

保護者アンケートより

昨年度の課題であった駐車場に関しては、第一段階として区画の整備を進め、台数の確保と入庫出庫のしやすさは改善できたと感じる。今年度のアンケートの中で、駐車場と駐車場から園舎への通路の水たまり等のご意見をいただいたので、駐車場に関しては第2段階の舗装工事、通路も整備を進めていきたいと思う。

アンケートの回答の中に、早番・遅番利用をしている為、担任と話す機会がほとんどないのご意見があった。職員もシフトで勤務している為、クラスの園児全員の登降園を担当が見守るのは難しい。情報共有として「コードモン」を利用しているが、3歳以上児となるとその配信も毎日とはいかない。保護者に対して子どもたちの様子を知らせていきたいと思いと、職員の仕事量のバランスを考えると、行事等で来園して下さったときにゆっくり話せる時間をとる等、保護者にアナウンスしていきたいと思う。

全体的に園の活動に対してご理解いただいているご意見が多く嬉しく思った。職員に対してのねぎらいの言葉等も見られ、明日からの保育の大きな原動力になった。開園から年月が経っても「こんな園にしていきたい！」という職員のモチベーションを保ちながら、保護者と保育士が共に子ども達にとってのベストを探っていける園であり続けたい。

職員評価より

今年度は改めて「全体的な計画」を深く読み解き、保育に繋げて行く事に重点をおいてきた。リーダー層の意識はとても高く、自分がクラスを引っ張っていくんだ！と意欲にあふれる姿がとてもたくさん見られた。毎月のクラスでの研修の中では、リーダーが中心になって、押さえておきたい発達段階を深掘りしたり、担当歳児の理解を深め保育に生かしていく事が出来たりと昨年よりも充実した歳児研修になったと感じる。

経験年数別の研修として、今年度は若手研修・中堅研修・リーダー研修と3グループに分かれて、年間6回の研修を行った。各グループごと学びたいことを出し合ったことで、園長や主任から伝えられる保育観とは違い、自分たちで「モコのめざす保育」を考えていく事ができたと感じる。また、全体研修として、アプローチカリキュラムを基に年長児の保育を考える等、小学校への接続に関しても全職員が意識できた。

今年何度かニュースとして取り上げられた「不適切保育」に関しては、全職員が衝撃を受けた。個々に持っている価値観で保育してしまうのではなく、職員同士何度も何度も反省をしたり、話し合いをすることでプロとしての子どもへの対応をしていけるように研修を計画していかなければいけないと改めて感じた。

園総合評価

昨年度に引き続き、「風土」は大切に過ごした。職員同士のコミュニケーションもギクシャクした緊張感がなくなり、意見もより活発にかかわるようになってきたと感じる。子ども達の為にやってみたいと思った事も遠慮することなく取り入れ、クラスごとに反省を繰り返すことで子ども達の成長になったと感じる。

園全体的に良い風土が根付きつつあるが、まだまだ「ひとりひとりの個性を生かした職場」とはなり得ていない。「自分」の思いと「他者」の思いが違う事は大人なので理解してはいるが、保育への思いが強いからこそそのすれ違いもあった。子ども達への熱い想いを語り合い、クラスごとに方向性を共有したり、意見を交わしたり、良い部分だけでなく改善点も気を遣わずに話せる雰囲気作りが今後は必要だと感じる。

保育としては、子ども達にとってより様々な経験ができる環境を目指し、環境の改善（園庭設備の充実、園内の使い方の工夫等）考えていきたい。3歳以上児が揃う初年度となるので、異年齢での育ち合いも出来るよう、職員のアイデアを募集し、スピーディーに環境整備を進めたい。